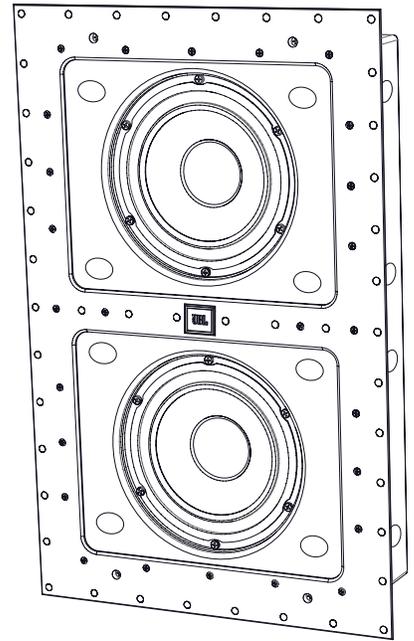
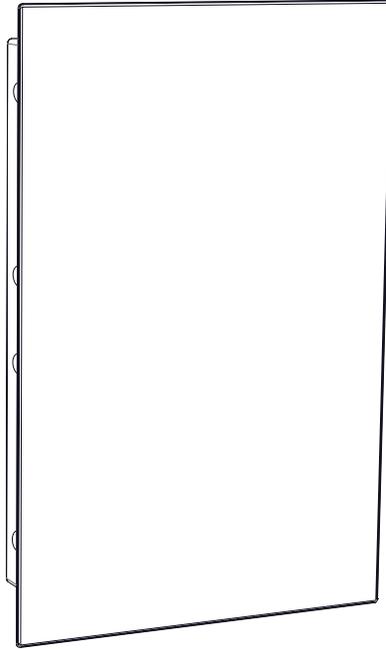




by HARMAN[®]

SYNTHESIS[®]



JBL[®] SSW-4

インウォール・ラウドスピーカー

取扱説明書

重要な安全上の注意

1. メーカーによって指定された付属品のみを使用する。
2. メーカーによって指定された、または装置に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケットまたはテーブルのみを使用する。 カートを使用する場合、転倒によるけがを避けるためにカートに載せて装置を移動する際には注意する。
3. 資格のあるサービス提供者に全ての修理を任せる。電源コードまたはプラグが破損した、装置に液体がこぼれた、または物が落ちた、あるいは装置が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または装置を落とした場合のように、装置が何らかの形で破損した場合、修理が必要である。

WEEE警告

2014年2月14日にEU法として施行されたWEEE指令 (Waste Electrical and Electronic Equipment) は使用が終了した電子機器の取り扱いに大きな変化をもたらしました。

この指令の最優先目的は、電子機器の廃棄を回避する事です。次に、廃棄物を減らすために廃棄物の再利用、リサイクル、その他の形式の回収を促す事です。商品や箱に掲載されている、電気・電子機器の回収を意味するWEEE指令のロゴは、次の図のようにバツ印の付いた車輪付きのゴミ箱で構成されています。



この商品は絶対に他の家庭ごみと一緒に処分や廃棄をしてはいけません。あなたは電気・電子機器は必ず、危険廃棄物のリサイクル用の指定された回収場所に持っていき処分する責任があります。電気・電子機器廃棄物を処分する際に、隔離と適切な回収によって、天然資源の保存を助ける事ができます。さらに、適切な電気・電子機器廃棄物のリサイクルによって、人間の健康や環境を守る事ができます。電気・電子廃棄物の処分、回収、回収場所に関する詳しい情報は、地域の役所、家庭ごみ処理サービス、機器を購入した店または製造者に問い合わせてください。

ROHSコンプライアンス

この製品は、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する2011年6月8日の欧州議会及び理事会指令 (2011/65/EU) に準拠しています。

目次

JBL®について	3
JBL® SSW-4インウォールSUBWOOFERについて	3
製品の特長	3
同梱品	3
箱から出す	4
設置方法の概要	4
必要なツール	4
スピーカーの設置	4
穴を開ける	5
ワイヤーを通す	5
接続	5
JBL SDA 8300アンプをJBL SSW-4 SUBWOOFERモジュールに接続する	6
設置	7
スピーカーグリルの塗装	7
トラブルシューティング	8
仕様	8
限定保証書	9

新型のJBL® Synthesis SSW-4インウォールSubwooferをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。アーキテクチャルsubwooferシステムのパフォーマンスを最適化するため、以下の設置と設定情報をお読みください。

JBL®について

1946年から、JBL®はラウドスピーカー設計とパフォーマンスの最先端を走り続けてきました。Harman Internationalの世界をリードする研究と設計設備に支えられて、JBL®ラウドスピーカーは以下のような最先端のリソースの恩恵を受けています。

- 大規模な複数の無響室により、精密なテストと測定が可能。
- ダブルブラインドで、独立した位置づけのリスニングテストを行うためのマルチチャンネル・リスニング研究所。
- レーザー干渉計により、詳細なドライバーとキャビネット分析が可能。
- 最先端のラウドスピーカー・モデリングを利用した有限要素解析。
- ステレオ・リソグラフィ装置が、細工されたパーツを素早く「製作」。

JBL® SSW-4インウォールSUBWOOFERについて

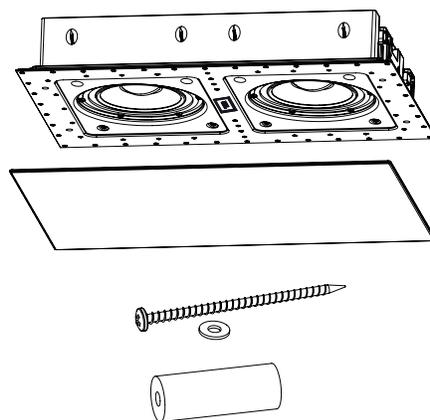
SSW-4 subwooferは、JBL® SDA 8300 subwooferと共に使用するよう特別に設計された、8インチ高性能デュアル・インウォールsubwooferです。また、JBL® SDA8300アンプを使用して最高の音の強弱と周波数特性を実現するように最適化されており、特許取得のSSW-4のリアクティブ負荷インピーダンスを駆動させるように特別に設計されています。

製品の特長

- 8インチの薄型でKlippel最適化されたデュアル・ロングスロー・メタルコーンウーファー
- 簡単な設置方法:設置位置にワイヤーを通し、穴を開け、subwooferを設置
- ゼロベゼル、マグネット式取り付けグリル
- 金メッキ・スピーカー端子

同梱品

- SSW-4 Subwooferx1
- SSW-4 Subwooferグリルx1
- 取り付けねじ(サイズ10号、3.5インチ/長さ90mm)x8
- 取り付けねじ用ワッシャー(サイズ10号、タイプA)x8
- 壁掛け用絶縁体x8



箱から出す

subwooferと付属品を慎重に取り出します。運送中の損傷がある場合は、ただちに販売店および/または配送サービスにご報告ください。後で使用できるように、発送用のダンボールおよびこん包材を保管してください。

警告:アンプの設定を始める前に、この説明書の最初に記載されている重要な安全上の指示を必ず読み、順守してください。

設置方法の概要

新型JBL® SSW-4を設置、使用するには、以下のステップに従ってください。

1. 必要なツールを揃える
2. 部屋の中で、SSW-4を設置する場所を決める
3. SSW-4用の穴を開ける
4. ワイヤーを通す
5. SSW-4を接続、設置する
6. 後は聴くだけです!

必要なツール

- スタッドの位置を決めるスタッド・ファインダー
- 寸法の図面に従って、穴を開ける線を引く鉛筆
- シートロック・ナイフ
- Philips製2号ドライバーヘッド/ビット付きねじ回し、またはクラッチ式ドリル

オプション:

- スピーカーワイヤー通線用のフィッシュテープまたはスティック
- 部屋の内装にさらにマッチさせるための、グリル塗装用のスプレーペイント

JBL® SSW-4の設置は極めて簡単です。しかし、この説明書の指示が理解できない場合、またはこのラウドスピーカーを適切に設置する自信がない場合は、販売店または資格のある設置業者にご連絡ください。

警告:HARMAN Internationalは不適切な金具の設置、または不適切な設置や落下したラウドスピーカーから生じる人体の損傷または製品のダメージに責任を負わないものとします。

スピーカーの設置

低周波サウンドは通常、全方向性です。音楽を聴く人はそのサウンドがどこから出ているか知ることはできないということです。しかし、75Hzと150Hzの間の周波数は必ず認識できます。特に、音量が大きいほどそうなります。推奨されるsubwooferのポジショニングにより、ラウドスピーカー・システムが最も自然なサウンドステージとイメージングを提供します。フロント・ラウドスピーカーを置いているのと同じの壁に沿ってSSW-4インウォールsubwooferを設置することを推奨します。SSW-4 subwooferはビデオシールドされていないので、磁場の影響を受けるビデオ・ディスプレイの近くに設置しないでください。SSW-4を部屋の隅近くに設置すると、低周波出力を最大限にしやすいです。隅に設置する場合は、「ブーミー」なサウンドにならないようご注意ください。アルコーブといった、通常とは異なる部屋の特長も考慮してください。アルコーブは部屋の中に、低音域レスポンスに影響する可能性のある局所的な定常波を生み出すことがあります。



また、スピーカーの底面が床から約12インチ(約30.5センチ)になるようにスピーカーを設置することをお勧めします。これは、低周波装荷(低音の補強)に役立ちます。さらに、スピーカーを目に付きにくくするのも役立ちます。特殊な環境では、スピーカーを壁のどの高さにも設置することが可能です。

2基のSSW-4インウォールsubwooferシステムをお使いになる場合は、音波が互いに打ち消し合うことがあるので、位相への注意が必要場合があります。低音域レスポンスが不十分だと感じられる場合、片方のsubwooferの極性を逆にしてみてください。つまり、アンプの(+)端子をスピーカーの(-)端子に、アンプの(-)端子をスピーカーの(+)端子に接続するのです。

注:これは単なるガイドラインであることにご留意ください。リスニングルームはそれぞれ異なるので、JBLは最も良い結果になるように、部屋の壁に穴を開ける前にsubwooferのポジショニングを試すことを強くお勧めします。理想的なsubwooferの位置を見つけるのに役立つテクニックのひとつは、独立したsubwooferを一時的に借り、通常のリスニング位置の近くに置くことです。次に、部屋の中で動かして、最も快適なバス・パフォーマンスが聞こえる位置を決定してください。そこが、subwooferを置く理想的な位置です。絶対に間違いないようにするために、SSW-4を想定している位置にできるだけ近づけて置き、SDA 8300とソースに接続することをお勧めします。次に、音楽またはビデオクリップを流して、特性が適正であることを確認します。SSW-4に必要以上の大音量を流さないでください。そうすると、壁の所で振動し、壁に跡が付く可能性があります。

穴を開ける

まず、右の寸法図面通りに、鉛筆で穴を開ける位置に印をつけます。

次に、シートロック・ナイフを慎重に使う印をつけた位置に沿って穴を開けます。穴は2個のスタッドの間にもちょうどフィットさせる必要があります。SSW-4ではこのスタッドを、分離取り付けアタッチメント用に使います。

ワイヤーを通す

警告：電源をオフにする-スピーカーの設置を完了する前にスピーカーワイヤーを接続する必要があります。オーディオシステムとお客様自身を、設置中の偶発的な電気のショートや異常電圧による損傷やけがから保護するため、スピーカーの設置を始める前に全てのオーディオシステムの電源を「オフ」にしてください。

この時点が、SDA 8300アンプの位置からSSW-4用に開けた穴までワイヤーを通すのに良いタイミングです。高品質スピーカーワイヤーを使用して、JBL® SSW-4から最高のパフォーマンスを引き出してください。

- ワイヤーの全長が50フィート(15m)以下の場合、最低でも16ゲージのスピーカーワイヤーを使用してください。
- ワイヤーの全長が50フィート~100フィート(15m~30m)の場合、最低でも12ゲージのスピーカーワイヤーを使用してください。
- ワイヤーの全長が100フィート(30m)以上の場合、最低でも10ゲージのスピーカーワイヤーを使用してください。

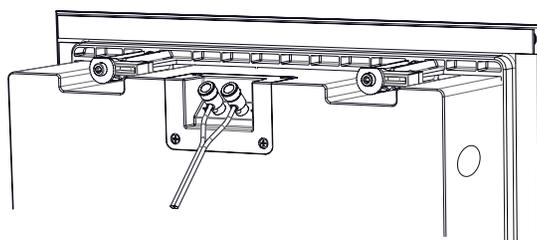
注：スピーカーワイヤーは全て、インウォールでの使用のために、居住地域の建築物および安全規則に準拠している必要があります。

先端の金メッキ・スピーカー端子にワイヤーを接続している間は、SSW-4を平面上に置くか、他の人に持ってもらうてください。スピーカー端子を押してワイヤーを通す穴を開き、ワイヤーをそれぞれ、陽電極リード線を赤の端子に、負電極リード線は黒の端子に差し込んでください。ほつれたワイヤーの燃り線が、他のスピーカー端子に触れていないことを確認してください。

接続

ワイヤーの一端を使って、SDA 8300の陽電極(+)出力端子の一つをSSW-4の陽電極(赤)端子に接続します。ほとんどのワイヤーはこのためだけに、他のリード線と区別する一定の間隔が空いた+の印が印刷された、または突起の付いた一本のリード線になっています。1組のリード線のもう一方の端を使って、対応するSDA 8300負電極(-)端子を、同じくSSW-4の負電極(黒)端子に接続します。1基のSSW-4がどの1組の出力に接続されているかは問題ではありません。

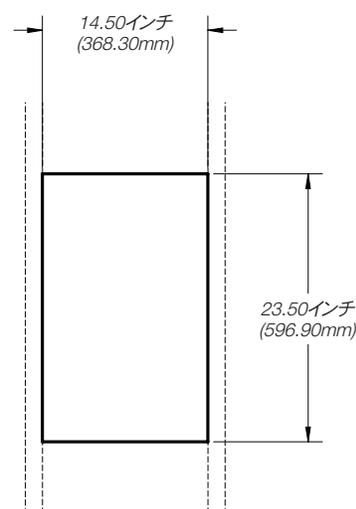
通常は、接続する際に極性を逆にしなすなわち、SDA 8300の+出力をSSW-4の-入力に接続しない、またはSDA 8300の-出力をSSW-4の+入力に接続しないでください。大部分の部屋では、これが貧弱なイメージングと低音域レスポンスの低下の原因になります。しかし、特殊な部屋または位置ではこれが役に立つこともあります。8ページのトラブルシューティングをお読みください。



穴を開くため、ポストを押し下げてください。裸線の端を差し込み、ポストを離してワイヤーを固定してください。

警告：機器に損傷を与える可能性のあるショートを避けるため、陽電極と負電極のワイヤーの燃り線が互いに接触しておらず、スピーカーフレームのような金属部分に接触していないことを確かめください。

警告：2基のSSW-4 subwooferを1基のSDA 8300に接続する場合、必ずSDA 8300の1つの出力に1基のsubwooferを接続してください。絶対に、2基のSSW-4を1つのSDA 8300出力に接続しないでください。アンプまたはスピーカーが損傷することがあります。

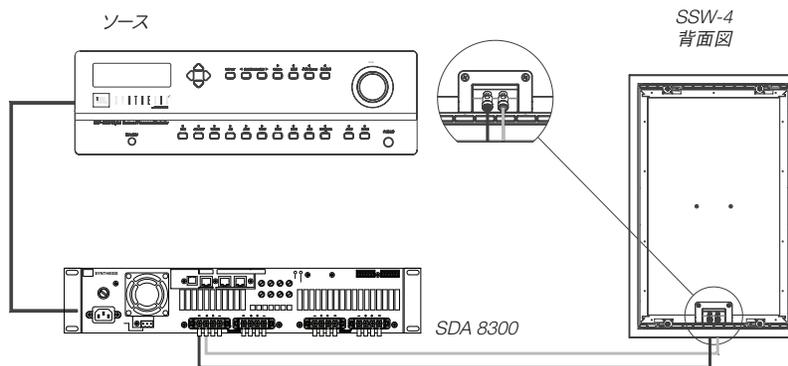


JBL SDA 8300アンプをJBL SSW-4 SUBWOOFERモジュールに接続する

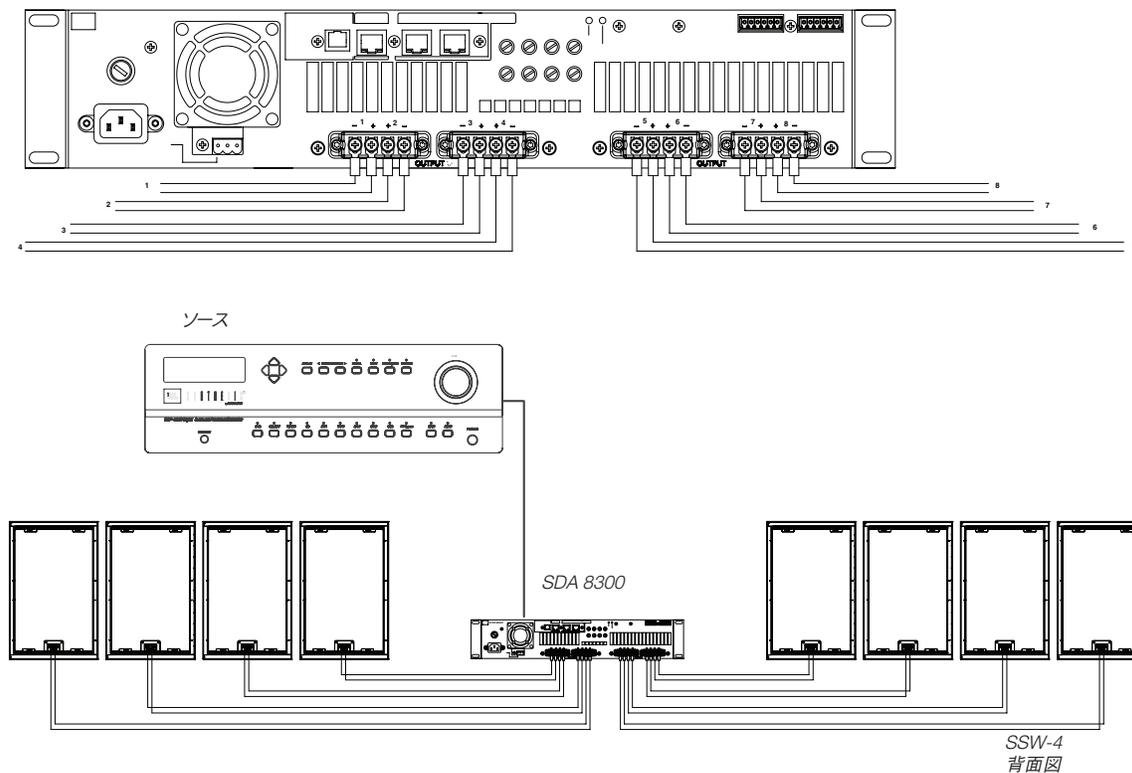
JBL SSW-4 SubwooferはJBL SDA 8300アンプ(別売)以外との併用を想定していません。

重要!全てのクロスオーバー設定にはJBL SSW-4製品のウェブページwww.jblsynthesis.comからダウンロードする必要のあるDSPプリセットファイルが含まれています。ダウンロードされたファイルに記載された指示に従って、SDA 8300 JBLアンプにファイルをインストールします。JBL SDA 8300アンプでこのファイルを使用することが、最適なパフォーマンスを実現し、subwooferの損傷を防ぐ唯一の方法です。これからの参考のために、アンプの取扱説明書をご参照ください。

1基のSSW-4 subwooferを接続する:

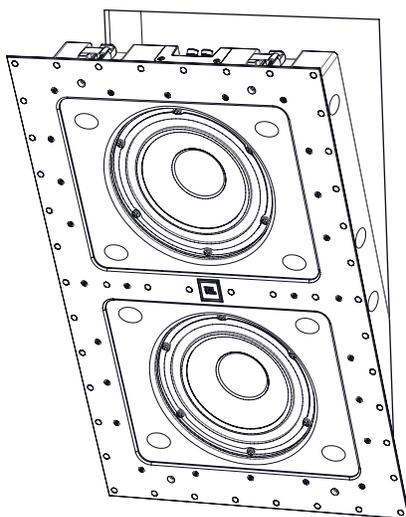


8基のSSW-4 subwooferを接続する:



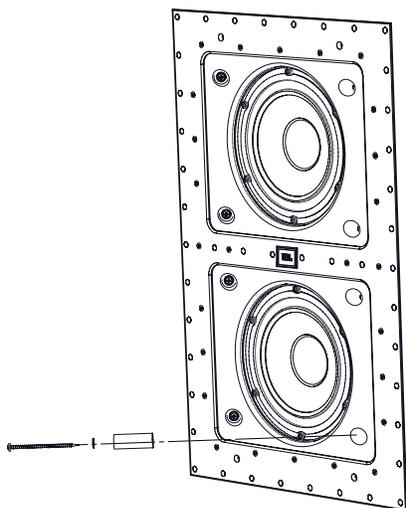
設置

いったんSSW-4インウォールsubwooferにワイヤーを取り付けたら、壁に空けた穴の開口部にsubwooferを設置します。SSW-4は壁に設置した時に、端子の先端が上に来るように設計されています。



SSW-4を壁にはめ込んで、てっぺんと底部の取り付けねじを締めてください。こうすると、subwooferの両端にあるくの字型のクランプが壁にくっつきます。絶対にねじを締めすぎないでください。この時点では、固定しておくだけでいいのです。

8つのねじ穴のそれぞれに取り付け用絶縁体を挿入します。次に、付属の取り付けねじにそれぞれワッシャーを一個ずつ通し、絶縁体を貫通する取り付け穴にねじを差し込みます。



ただちに絶縁体取付ねじを締めてください。このねじが、取り付けられた絶縁体を広げ、壁の中のsubwooferを支えます。このねじは取り付けられた絶縁体を十分広げられるように固く締める必要がありますが、このポイントを超えて締める必要はありません。

設置後、subwooferを通して信号が再生されます。SSW-4からブズンいたり、ガタガタいう音をする場合は、その音がなくなるまで取り付けねじの締め具合を調節してください。

スピーカーグリルの塗装

SSW-4ラウドスピーカー・グリルはどんな内装にも合うように塗装できます。グリルの色を変えたい場合は、サテン仕上げが下塗り塗料として機能します。高品質スプレーペイントを使用し、色を薄くコートしてください。グリルを取り付ける前に、パッフルとは別に塗装してください。グリルを塗装した後、グリル背面に貼られているスクラムクロスを剥がして捨ててください。グリルを塗装する場合、本説明書の最後に記載されている電話番号にかければ、追加でスクラムクロスを注文することができます。

トラブルシューティング

症状	解決策
スピーカーから音が出ない場合:	<ul style="list-style-type: none">ソース/レシーバー/SDA 8300の電源が入っていて、再生中であることをチェックしてください。レシーバー/SDA 8300とスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。レシーバー/SDA 8300を適切に操作していることを再確認してください。
1基のスピーカーから音が出ない場合:	<ul style="list-style-type: none">レシーバー/SDA 8300のバランス・コントロールおよびチャンネル出力レベル設定をチェックしてください。レシーバー/SDA 8300とスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。マルチチャンネル・アプリケーションで、レシーバー/プロセッサが、使用している全チャンネルで使用可能な設定になっていることをご確認ください。
バス出力が低い(または、出ていない)場合:	<ul style="list-style-type: none">スピーカー入力への接続が正しい極性(+および-)になっていることをご確認ください。2基のSSW-4 subwooferをお使いの場合、片方のsubwooferの極性を逆にしてみてください。サラウンドモードで、レシーバー/プロセッサが正しく設定されていることをご確認ください。レシーバー/プロセッサのsubwoofer出力が有効になっていることをご確認ください。サラウンドモードでの正しいスピーカー設定の詳細情報については、お持ちのレシーバー/プロセッサの取扱説明書をご覧ください。
システムの再生音量が小さくて、音量を上げると電源が切れる場合:	<ul style="list-style-type: none">レシーバー/SDA 8300と全てのスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。サテライト・スピーカーのショートにより、レシーバーがシャットダウンしている可能性があります。2組以上のメインスピーカーが使用されている場合、レシーバーの最低インピーダンスの必要条件をチェックしてください。
subwooferから中音域周波数(ボーカルなど)が聞こえる場合:	<ul style="list-style-type: none">JBL SDA 8300アンプのクロスオーバー周波数をもっと低い値に調整してください。

過度な出力レベル

JBL®ラウドスピーカーは、個々のスピーカードライバーへの損傷の可能性を減らして、過酷な作動条件の下でもラウドスピーカーがパフォーマンスを維持できるようにする高次フィルターを特色とした、カスタムデザインのトランスデューサーと高品質ネットワーク・コンポーネントを特長としています。しかし、連続再生に関しては、全てのラウドスピーカーには限界があります。歪んだり張り詰めたサウンドになるボリューム・レベルでの再生は避けてください。

仕様

SSW-4

ドライバー構成:	8インチデュアル・ポリマーコート・アルミニウムコーン・ラバーサラウンドウーファー
周波数特性(-6dB):	36Hz~150Hz、SDA 8300を使用
必要なアンプ:	JBL® SDA 8300アンプ
公称インピーダンス:	8Ω
出力音圧レベル:	可変式、SDA 8300を使用
寸法(高さx幅x奥行)、グリル付:	25-3/8x16-1/2x4インチ(645mmx419mmx102mm)
取り付けカットアウトサイズ(高さx幅):	23-1/2x14-1/2インチ(596mmx368mm)
1基の重量:	28.4ポンド(12.9kg)

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

限定保証書

JBLクラウドスピーカーに欠陥がある場合は製品保証が行われます。保証書の有効期限はこの製品を購入した国の法律によります。お住まいの地域のJBL販売店で保証書の有効期限と保証範囲を知ることができます。

詳細については、以下のサイトにアクセスしてください: JBLSYNTHESIS.COM

Please visit JBLSYNTHESIS.COM for additional language support on the user manual.

Veillez visiter JBLSYNTHESIS.COM pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Para obter o manual do usuário em outros idiomas, acesse JBLSYNTHESIS.COM

Ga naar JBLSYNTHESIS.COM voor de handleiding in andere talen.

Gå til JBLSYNTHESIS.COM for bruksanvisning på flere språk.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт JBLSYNTHESIS.COM.

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、JBLSYNTHESIS.COMにアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 JBLSYNTHESIS.COM에서 확인하십시오

请访问 JBLSYNTHESIS.COM 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita JBLSYNTHESIS.COM para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter JBLSYNTHESIS.COM.

Si prega di visitare JBLSYNTHESIS.COM per i manuali di istruzioni in altre lingue.

Jos tarvitset ylimääräistä kieleen liittyvää tukea käyttöohjeesta, käy osoitteessa JBLSYNTHESIS.COM.

Gå ind på JBLSYNTHESIS.COM for at se betjeningsvejledningen på flere sprog.

Gå till JBLSYNTHESIS.COM för mer information om språk i användarmanualen.

Торговая марка:	JBL
Назначение товара:	Пассивная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
Срок службы:	5 лет Товар не подлежит обязательной сертификации
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «M» - месяц производства (A - январь, B - февраль, C - март и т.д.) и «Y» - год производства (A - 2010, B - 2011, C - 2012 и т.д.)

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr(VI))	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件(不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	0	0	0	0	0
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	0	0	0	0	0
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	0	0	0	0	0
附件	电线, 说明书, 包装等	X	0	0	0	0	0

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

○: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EPU)符号。
圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。



ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ 株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

www.jblsynthesis.com

© 2018 HARMAN International, Incorporated(ハーマン・インターナショナル株式会社)。無断複写・転載を禁じます。
JBLおよびJBLロゴは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の登録商標で、米国および/またはその他の国々で登録されています。

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。

弊社製品に関する質問、サポート、または追加情報については次の番号にお電話ください:(516) 594-0300 or (888) 691-4171。テクニカルサポートについては、問い合わせの詳細を送信してください



パートNo.950-0554-001概要.A